

大学の
研究室をのぞい
てみませんか？



はかってみよう！ 唾液でわかるストレスレベル

—未来博士号をとろう！—

最近、唾液からさまざまなからだの情報がわかるようになってきました。本実験では、唾液の中の免疫グロブリンA (s-IgA) というたんぱく質を調べます。

s-IgAは、唾液や涙、鼻汁などに存在し、感染を防ぐために重要な働きをしていて、ヒトのストレスのめやすとしても注目されています。

s-IgAは1日の中で変化しますが、どのように変化するのでしょうか。

自分の唾液中のs-IgAを分析して、ストレスの1日の変化を調べてみましょう。

開催日時: 平成27年11月15日(日) 9:30~17:00 (受付9:10~)

場 所: 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B3棟4階 427生物学生実験室
堺市中区学園町1-1

- ・南海高野線「白鷺」駅下車 徒歩15分
 - ・地下鉄御堂筋線「なかもず」駅(5番出口)下車 徒歩20分
 - ・JR阪和線「三国ヶ丘」駅下車 「北野田駅前」行きバス15分「府立大学前」下車
- ※駐車場はありませんので、電車等をご利用ください

講 師: 大阪府立大学 地域連携研究機構

代表者 准教授 三宅 孝昭
准教授 田中 良晴
准教授 松浦 義昌
准教授 坪内 伸司



唾液に試薬を入れて分析している様子

対象者: 中学生、高校生(18名)【先着順】

参加料: 無料(昼食付)

内 容: 唾液を分析します。(詳細は裏面)

持ち物: 唾液採取用の準備物(事前にこちらから送付します) 筆記用具

申込方法: EメールまたはFAXにて ①郵便番号・住所 ②氏名(フリガナ)・性別 ③学校名
④学年 ⑤電話番号 ⑥Eメールアドレス(ご家族でもかまいません)をご記入の上、
下記までお申込ください。

※お申込の際の個人情報は、申込後の連絡・案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

申込締切: 平成27年10月28日(水) (定員に達した場合、事前に締め切ることもあります。)

お問合せ: 地域連携研究機構 地域連携・研究支援課 山下 友紀

電話: 072-254-9804 FAX: 072-254-9935

E-mail: cyk23060@osakafu-u.ac.jp



実験は、大学生のスタッフがみなさんのお手伝いをしながら、唾液にいくつかの試薬を入れて分析をすすめていきます。試薬を入れた後、反応する時間がかかるので、その間に講義をしたり、昼食をとったりします。最後に、未来博士号を授与します。

当日の予定



| 時間 | 内容 |
|-------------|---|
| 9:10～9:30 | 受付 B3棟4階427 生物学生実験室 唾液採取  |
| 9:30～10:00 | 開講式 (あいさつ、オリエンテーション、科学研究費と本事業の説明) |
| 10:00～10:30 | 実験の概要、分析器具の使い方の説明 |
| 10:30～13:00 | 唾液の分析① (解凍、遠心分離、サンプル希釈分注など、途中休憩含む) |
| 13:00～14:00 | 昼食 (大学で用意します) 休憩 (大学のことなど聞いてください)  |
| 14:00～14:15 | 唾液の分析② (試薬分注) |
| 14:15～15:10 | 講義 (s-IgA、ストレス、研究成果などの話) ・ 休憩 |
| 15:10～15:30 | 唾液の分析③ (発色液、反応停止液注入) |
| 15:30～16:30 | データ分析、まとめ |
| 16:30～17:00 | 修了式 (アンケート記入、未来博士号授与)  |
| 17:00 | 解散 |

事前準備

1. 前日の夕方 2. 前日の就寝前 3. 当日の起床時の合計3回の唾液を採取、冷凍保存し、クーラーバックに入れ、持参してもらいます。
準備物 (採取用具、クーラーバック、説明書等) は、こちらから事前に送付します。

